

地域経済研究所活動報告 — 2010年度 —

<共同研究事業>

1) グローバル経済下での地域経済再生に向けた多角的研究

— 岐阜県内の中小企業・協同組合・福祉産業・基礎自治体の地域再生戦略を事例とした実証的考察 —

○研究目的：本学大学院で岐阜県内の地域問題を取り扱う研究に着手した元大学院生が結集し、各々の専門領域から岐阜県の実態を分析すると同時に、地域経済が直面する地域問題の構造と要因を明らかにし、地域問題の解決と地域の自律的発展に向けた地域政策を展望するための共同研究を行う。

○研究期間：2010年4月1日～2011年2月28日

○研究者：鈴木 誠 経済学部教授
浅井タヅ子 奨励研究員
渡 邊 優 奨励研究員
倉 地 幸 子 奨励研究員
堀 富士夫 奨励研究員
堀 智 考 奨励研究員

2) 中山間地域におけるコミュニティづくりに関する研究

— つながりとくらしを考えるプロジェクト —

○研究目的：中山間地においては、若年層の人口流出により地域社会の構成員が減少し、社会的共同生活の継続が難しい状況になっているが、高齢者の元気な動きも見られる。その例として、宮城県の「なんでもや」、沖縄における「共同売店」、そして農産物直販所の店舗数がセブンイレブンを上回り、高齢者がいきいきと生活し、地域が元気になっているなどの報告がある。しかし、日常生活における満足度や健康に暮らし続ける工夫がコミュニティづくりにどのような効果があるのかは明らかにされていないと思われる。そこで、高齢者へのアンケート調査から「つながり（人・集団・地域・環境）とくらしの関係」について考察し、中山間地域におけるコミュニティづくりの方法を見つけたい。

○研究期間：2010年4月1日～2011年2月28日

○研究者：樋下田邦子 経済学部准教授
新 家 茂 経済学部教授
佐々木喜一郎 岐阜経済大学非常勤講師

<公開講演会> 日本地域経済学会と共催

○実施日：2010年11月27日（土）

○テーマ：大垣共立銀行の歩みと大垣産業の変遷
～ 郷土力企業を生み出す地域の力～

○場 所：岐阜経済大学 7号館講堂

○講 師：土 屋 嶋 大垣共立銀行頭取 学校法人岐阜経済大学理事長

<研究会>

- 実施日：2011年3月8日（火）
- テーマ：「我が国の医療と病院経営」
- 場所：岐阜経済大学 1号館3F 第3会議室
- 講師：大友克之 朝日大学学長

<調査見学会>

- 実施日：2010年11月5日（金）
- テーマ：多文化共生 ～新しい地域社会および地域経済のあり方～
- 場所：KYODAI Market（大垣市郭町商店街）